

4. 新聞等に掲載された研究

細菌学講座

氏名・職名	研究題目	掲載紙(誌)名	掲載年月日	研究内容の概要と社会との関連
宮本 勉 教授 片峰 茂 助教授	シェーグレン症候群： HTLV-1が一因	長崎新聞	'94.12.2	シェーグレン症候群の一部がHTLV-1の感染により発症する可能性が高い、と云う研究内容(A-a、No.6の論文)の紹介

医動物学講座

氏名・職名	研究題目	掲載紙(誌)名	掲載年月日	研究内容の概要と社会との関連
矢野 明彦 教授	多田富雄氏招聘大仏次郎 賞受賞記念講演会	朝日新聞	H6.1.19	脳死に関する免疫学的アプローチ
矢野 明彦 教授	先天性トキソプラズマ症 に新診断法(遺伝子増幅 法)	朝日新聞	H6.12.7	診断法開発による社会への貢献

原爆後障害医療研究施設 先天異常(遺伝学)部門

氏名・職名	研究題目	掲載紙(誌)名	掲載年月日	研究内容の概要と社会との関連
陣野 吉廣 講師	ゲノムインプリンティング	長崎新聞	1994.3.	ヒトWT1遺伝子のインプリンティング現象の発見(Nature Genetics発表論文に対して)

原爆後障害医療研究施設 発症予防部門

氏名・職名	研究題目	掲載紙(誌)名	掲載年月日	研究内容の概要と社会との関連
山下 俊一 教授	チェルノブイリ原発事故 健康調査	長崎新聞	'94.5.29	チェルノブイリ国際医療協力
同上	チェルノブイリシンポジ ウム	毎日新聞	'94.6.4	チェルノブイリ国際医療協力
同上	チェルノブイリプロジェ クト	読売新聞	'94.5.23	チェルノブイリ国際医療協力
同上	被曝者医療協力	朝日新聞	'94.8.7	医師研修と被曝教育
同上	被曝者医療協力	朝日新聞	'94.9.6	医師研修と被曝教育

原爆被災学術資料センター 資料調査部

氏名・職名	研究題目	掲載紙(誌)名	掲載年月日	研究内容の概要と社会との関連
三根 真理子 講師	被曝者の精神的影響調査	長崎新聞 中国新聞	'94.6.3 '94.6.6	被曝の精神的影響を科学的に評価するための調査を開始した。近距離被曝者は精神的健康度の低いものが多かった。

内科学第一講座

氏名・職名	研究題目	掲載紙(誌)名	掲載年月日	研究内容の概要と社会との関連
長 瀧 重 信 教 授	児童の甲状腺がん国際シンポで討議	朝 日 新 聞	'94. 1. 22	チェルノブイリ原発事故による放射線被爆の影響と甲状腺がんの発生との関連性を討議する国際的シンポジウムが始めて開催される。
長 瀧 重 信 教 授	第67回日本内分泌学会	Medical Congress News	'94. 4. 5	第67回日本内分泌学会の記事
長 瀧 重 信 教 授	広がる分野、成果に脚光	教育医事新聞	'94. 4. 25	第67回日本内分泌学会の記事
長 瀧 重 信 教 授	日本で発見 新ホルモン紹介	教育医事新聞	'94. 4. 25	第67回 日本内分泌学会
長 瀧 重 信 教 授	子供の甲状腺がん多発	読 売 新 聞 朝 日 新 聞 長 崎 新 聞 毎 日 新 聞	'94. 5. 23 '94. 6. 4 '94. 6. 4 '94. 6. 4	各国の研究者ら報告。 チェルノブイリ原発汚染地域における甲状腺がんは異常に多発している。その発症率は通常の数百倍に及び、その原因として放射線汚染との関連性が推測されるが、断定するにはいたらず。
長 瀧 重 信 教 授	第67回日本内分泌学会の開催にあたって	Medicament News	'94. 5. 25	各分野の最新的话题を豊富にもりこみ、第67回日本内分泌学会が開催される。
長 瀧 重 信 教 授	子供の甲状腺がん多発の原因は？	長 崎 新 聞	'94. 5. 29 '94. 5. 30	チェルノブイリ原発事故に伴い放射線被爆と甲状腺癌の発生との関連とを討議する。
長 瀧 重 信 教 授	長崎でチェルノブイリ事故シンポ	読 売 新 聞	'94. 6. 2	長崎でチェルノブイリ原発事故に関して国際的な各施設の代表者がその現状及び将来について討議する。
長 瀧 重 信 教 授	調査研究機関に長大医学部指定	長 崎 新 聞	'94. 6. 3	長崎大学医学部内科学第一講座がチェルノブイリ原発事故による汚染地域の研究機関として、WHOの協力センターに指定される。
長 瀧 重 信 教 授	今後の調査方法などで意見交換	長 崎 新 聞 読 売 新 聞	'94. 6. 5 '94. 6. 10	チェルノブイリ事故により、小児甲状腺がんが急増しているが、この原因の究明に関して、今後の調査方法を討議した。
長 瀧 重 信 教 授	チェルノブイリ事故甲状腺国際シンポ	NHK長崎放送	'94. 6. 6	チェルノブイリ事故により、小児甲状腺がんが急増しているが、この原因の究明に関して、今後の調査方法を討議した。

川崎英二 医員	GAD抗体はIDDMの有 力な予知マーカーに	Medical Tribune	'94. 6. 16	抗GAD抗体はIDDMの有 力なマーカーである とともにNIDDM用の 発症様式を示す糖尿 病患者のなかから 将来インスリン分泌 不全に陥る患者を 発見する予知マ ーカーとしても有 用。
長瀧重信 教授	長崎大学が国際シン ポジウム	文教ニュース	'94. 7. 4	チェルノブイリ原 発事故の人体に 対する影響につ いて。
江口勝美 助教授	臨床医が選ぶ非 ステロイド性抗 炎症剤ベスト10	薬事日報	'94. 7. 12	非ステロイド性 抗炎症剤の扱 い方。
長瀧重信 教授	長崎被爆2587人 追跡調査	読売新聞 西日本新聞 読売新聞	'94. 8. 3 '94. 8. 4 '94. 8. 4	長崎被爆者2587 人を追跡調査し た結果、474人 (17.3%)が何 らかの甲状腺疾 患にかかっている こと、及びうち 甲状腺機能低下 症が被爆してい ない人の約3倍 であることが明 らかとなった。
山口義彦 講師	角尾賞に山口氏 長崎大講師	長崎新聞 読売新聞 毎日新聞 西日本新聞	'94. 8. 18 '94. 9. 20 '94. 9. 28 '94. 10. 7	糖尿病における 自己免疫異常の 解明と自己免疫 抗体の測定法の 開発及び新しい インスリン受容 体の遺伝子異常 の発見、ICA、 GAD抗体測定 法の開発および その臨床的応用 が評価される。 10年間の研究 結果—特にイン スリン依存型糖 尿病における自 己抗体測定法の 開発。少量の採 血で糖尿病の予 備軍がわかる。
長瀧重信 教授	教員の研究成果を 公表	西日本新聞 長崎新聞 読売新聞	'94. 8. 25 '94. 8. 26 '94. 8. 27	長崎大学は同大 大学院の研究活 動などの成果を 自己評価した報 告書「大学院の 高度化に向けて」 を刊行した。
長瀧重信 教授	低線量被爆による 甲状腺疾患	NHK TV 全国放送	'94. 8. 3	原爆被爆者に自 己免疫性の甲状 腺機能低下症が 多く、特に低レ ベルの被爆をし た人に発生率 が高い。
長瀧重信 教授	Autoimmune Thyroid Disease in Atomic Bomb Victims, Nagasaki	Voice of America	'94. 8. 6	The Study for the first time found a signifi cant increase of the case of auto immune hypothy roidisms in the atomic bomb vic tims.
長瀧重信 教授	日本内分泌学会 学術総会	ラジオたんぱ 放送	'94. 9. 12	内分泌の中心 であるホルモン の産生や作用 について研究
江口勝美 助教授	慢性関節リウマチ の治療について	社)日本リウ マチ友の会 長崎支部報 (長流)	'94. 9. 30	リウマチ患者 への教育。

長 瀧 重 信 教 授	旧ソ連の医師3人が来崎	長 崎 新 聞	'94.10.12	旧ソ連医師3人が放射線医療の研究 に来崎。放射線医療の治療の現 状と将来について意見を交換した。
長 瀧 重 信 教 授	重症糖尿病患者の予知に GAD抗体測定有効	長 崎 新 聞	'94.11.5	軽症糖尿病患者の重症化の予知、 予防として抗GAD抗体に期待。
赤 澤 昭 一 講 師	糖尿病母体内の奇形抑制 に効果	長 崎 新 聞	'94.11.13	グルタチオンが糖尿病の原因で発 生する奇形の抑制に効果があるこ とを報告。
長 瀧 重 信 教 授	糖尿病で国際シンポ	長 崎 新 聞	'94.11.15	ハウステンボスにてI型糖尿病の 国際シンポジウムが開かれた。
長 瀧 重 信 教 授	被爆者援護法案長崎公聴 会	西日本新聞 朝日新聞 長崎新聞 読売新聞 毎日新聞	'94.12.1	被爆者援護法案地方公聴会。 被爆者援護法案及び野党の対案に 体する地方公聴会が開催された。
江 口 勝 美 助 教 授	シェーグレン症候群	長 崎 新 聞	'94.12.2	シェーグレン症候群の発症一因と してHTLV V-1の関与を明らかに した。
長 瀧 重 信 教 授	現被爆地域は非合理的	長 崎 新 聞	'94.12.18	現被爆地域の指定は、合理的根拠 の面で検討の余地がある。

精神神経科学講座

氏名・職名	研究題目	掲載紙(誌)名	掲載年月日	研究内容の概要と社会との関連
中 根 允 文	被爆者の精神的健康 (チェルノブイリ原発事 故の影響について)	長 崎 新 聞	'94.6.6	
中 根 允 文	子供の自閉症	すこやかファ ミリー臨時増 刊'94夏号	'94	
南 秀 雄	避難生活で精神的障害の 恐れ	愛 媛 新 聞	'94.5.26	

皮膚科学講座

氏名・職名	研究題目	掲載紙(誌)名	掲載年月日	研究内容の概要と社会との関連
山本 憲 嗣 助 手	微量オゾン発生装置 一室内のダニ数、ダニ抗原量を大幅に減少	Conference News	'94.	微量オゾン発生装置により室内のダニ数及び抗原量を減少させる
前田 啓 介 助 手	アトピー性皮膚炎におけるかゆみ	Medical View Points	'94.	アトピー性皮膚炎の発症機序の研究と診療を紹介
吉田 彦 太 郎 教 授	医療往来：アトピー性皮膚炎の発症機序の研究と診療に力を注ぐ	インゲルハイマー	'94. 1.	アトピー性皮膚炎の発症機序の研究と診療を紹介
吉田 彦 太 郎 教 授 山本 憲 嗣 助 手	アトピー性皮膚炎班	アレルギー 総合研究事業	'94. 8.	厚生省アレルギー総合研究事業の研究成果を一般にも分かりやすく報告し、今後の課題を提起
吉田 彦 太 郎 教 授	新しいアレルギー疾患治療ガイドラインをめぐって	Medicament News	'94. 8.15	アレルギー疾患治療ガイドラインについての対談記事
吉田 彦 太 郎 教 授	アトピー性皮膚炎の鑑別と治療をめぐって	3°C plus one	'94. 8.20	アトピー性皮膚炎の薬物治療について皮膚科と小児科の立場からの対談記事

泌尿器科学講座

氏名・職名	研究題目	掲載紙(誌)名	掲載年月日	研究内容の概要と社会との関連
斉藤 泰 教 授	前立腺肥大症の新しい治療	NHKきょう の 健 康	'94. 1.	前立腺肥大症について一般向けに解説

耳鼻咽喉科学講座

氏名・職名	研究題目	掲載紙(誌)名	掲載年月日	研究内容の概要と社会との関連
神田 幸 彦 助 手	インターフェロンと感音性難聴難聴	朝日新聞	H6. 6.26	肝炎などに使用するインターフェロンの新しい副作用として感音性難聴を指摘し注意を喚起した。

産科婦人科学講座

氏名・職名	研究題目	掲載紙(誌)名	掲載年月日	研究内容の概要と社会との関連
山 辺 徹 教 授	婦人科腫瘍の診断と治療・膣、外陰癌	ラジオ短波	'94. 5. 2	婦人科腫瘍の中で比較的稀な膣・外陰癌について紹介し、その診断と治療を述べた。
山 辺 徹 教 授	女性のヘルスケア 妊娠偶発合併症・子宮頸癌	ラジオ短波	'94. 7.29	妊娠中に子宮頸癌が合併した時の診断と治療についてわかりやすく紹介した。